

第 33 回 金沢自転車ネットワーク協議会 議 事 概 要

日 時：令和 8 年 9 月 11 日（金）10:00～11:30

場 所：金沢河川国道事務所 2 階会議室

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - (1) 今年度の取組
 - (2) 金沢自転車事故対策研究会での取組
 - (3) 第 16 回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会
 - (4) 情報共有事項
 - (5) 今後の予定
4. 閉会

議 事 要 旨

■今年度の取組

- ◎いしかわ里山里海サイクリングルートが、ナショナルサイクルルートに指定された。指定に伴い、情報発信の強化や受入環境の充実を目指す必要がある。
- ◎ナショナルサイクルルート指定を好機として、金沢自転車ネットワーク協議会の取組を近隣市町に波及させ、自転車環境の安全性および利便性を高めることが重要である。
- ◎「サイクリストに優しい宿」の認定は、一律の基準ではなくランキング形式（星付け等）を採用することで、事業者の受入環境充実に向けた動機づけになるのではないかな。
- ◎デンマーク式自転車教室等、子どもへの交通安全教育により、ハード整備の効果がより発揮され、地元住民の自転車利用が促進されるのではないかな。

■金沢自転車事故対策研究会での取組

- ◎交通量が多い箇所は、自転車の見落としが発生しやすい。対策として、現場確認の上、路面表示等による注意喚起が重要である。
- ◎青切符制度の導入やヘルメット着用努力義務化により、高校生の間で交通安全への関心が高まっている。そのため、石川県警察本部では、自転車安全対策室の新設や、高校と連携した通学路マップ作成等の取組を進めている。
- ◎自転車側方通過時の離隔距離確保の義務化に関連し、乗用車の大型化による、事故リスクの高まりが問題視されている。

■情報共有事項

- ◎高校と連携した自転車交通安全啓発動画について、データや根拠を提示した論理的な内容である点が評価される。行政や警察だけでなく、民間とも連携し、継続的な啓発活動を展開することが重要である。
- ◎第17回全国シェアサイクル会議では、三国成子委員より、金沢での「左側通行」の路面表示の設置等、全国に先駆けて進めてきた歩みを発信予定である。

■今後の予定

- ◎自転車通行空間の整備延長は伸びている一方、初期に整備した路面表示の維持管理に向けた予算確保と対応も求められる。
- ◎「第13回自転車利用環境向上会議 in 雪国魚沼」や「Velo-city 2027 Ehime」等、本協議会や県内の取組を国内外に発信する機会であるため、協議会として積極的に関わっていききたい。

【第33回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委 員 名 簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	公立小松大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10・11次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通企画課長 吉村 修	代理出席 課長補佐 宮下 真希
	石川県警察本部 交通規制課長 牧 良一	代理出席 規制補佐 時枝 正登
	金沢中警察署 交通官 寺井 敏貴	出席
	金沢東警察署 地域交通官 巻口 亨	出席
	金沢西警察署 地域交通官 勝田 幸治	出席
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 中村 圭弘	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 吉田 直司	代理出席 担当課長 石川 敏充
	石川県 土木部 都市計画課長 田中 進一郎	代理出席 課長補佐 木村 優紀
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 岡田 昇三	出席
	金沢市 都市政策局 交通政策課長 高田 耕太郎	代理出席 担当課長 中山 哲也
	金沢市 土木局 道路管理課長 中川 宏希	代理出席 課長補佐 猪股 利彦

オブザーバー	野々市市 建設部 土木課長 塩田 健	代理出席 課長補佐 北川 孝治
	白山市 建設部 土木課長 蔵本 敏正	代理出席 計画係主事 村井 壮志
	津幡町 産業建設部 都市建設課長 松岡 隆司	出席
	内灘町 都市整備部 都市建設課長 四月朔日 松英	欠席
	三井住友海上火災保険株式会社 北陸損害サポート部	出席
事務局	石川県 土木部 道路整備課	出席
	金沢市 都市政策局 交通政策課	出席
	金沢河川国道事務所 計画課	出席
	日本海コンサルタント（株） 社会事業本部 計画研究室	出席

※ 敬称略